

講義コード		科目区分	基礎教育科目
(フリガナ)	シャカイガク	(フリガナ)	ユン チャンギ
授業科目名	社会学①②	担当教員名	尹 燦奇
英文授業科目名	Sociology		
基準年次(開講期)	1年(前期)	履修形態	選択
曜日/時限/講義室	月4限/浅草・水5限/池袋		
授業の方法	講義	授業の方法 (詳細情報)	講義
単位	2	週時間	2
授業のキーワード	社会学理論、グローバル化、ジェンダー、社会変動、個人と社会		
授業概要・目的	今日、社会学者が関心をもつ基本的争点、主要な視座について知り、現代社会への理解を深めることを目的とする。		
到達度評価の評価項目	主な社会学の理論を列挙することができる。 多様な社会類型を分類することができる。 社会変動に影響を及ぼす要因を説明することができる。 社会学の主要なテーマをグローバル化やジェンダーの問題と関係づけて、説明することができる。		
授 業 計 画			
第1回	ガイダンス 授業の概要、進め方		
第2回	社会学とは何か 社会学的観点、社会構造、社会学の創始者たちの諸理論		
第3回	文化、社会、個人の関係 文化の多様性、社会化、ライフ・コース		
第4回	社会類型 歴史上の社会諸類型、近現代の社会類型		
第5回	ジェンダーとセクシュアリティ 性とジェンダー、ジェンダーの社会化、人間のセクシュアリティ		
第6回	身体社会学 社会変動と身体、自然の社会化、高齢化		
第7回	家族、結婚 家族や結婚の歴史と変容		
第8回	エスニシティと人種 マイノリティとマジョリティ、偏見・差別・ステレオタイプ、人種問題の現在と未来		
第9回	組織 組織理論、グローバリゼーションと多国籍企業		
第10回	労働と経済 近代的な労働の特徴、分業、女性労働		
第11回	統治と政治権力 権力と権威、政治システムの類型		
第12回	マスメディアと文化 テレビとその影響、メディア理論、インターネットとの影響		
第13回	宗教 様々な宗教の理解、宗教に関する諸理論		
第14回	地球規模の社会変動 社会変動の様々な要因、現代のとらえ方、環境問題		
第15回	まとめ 第1回から第14回までの授業の振り返り		
教科書・参考書等	各回、資料を配布する。以下、予習・復習にあたる参考図書を紹介する。 ・A. ギデンズ (1997) 『社会学』、松尾精文ほか訳、而立書房。 ・本間康平ほか編 (1990) 『社会学概論』、有斐閣		
授業で使用する機器等	パワーポイント		
予習・復習へのアドバイス	前半の学習目標の到達度をチェックするために第8回にレポート課題を出す。参考図書・配布資料を読んで予習・復習をすること。		
履修上の注意・受講条件等			
成績評価の基準等	期末テスト70% (選択式問題と記述式問題で評価する。) レポート20% (講義内容に関するレポート課題を出す。) 授業に取り組む姿勢10% (授業への積極的参加は評価する。)		
メッセージ	私語は禁止。授業と関係のない情報機器の使用禁止。		
オフィスアワー	月・水・金の昼休憩時間(12:00-12:45)		
その他			